



—記者発表資料—

平成 31 年 2 月 1 日
日本下水道事業団

第 4 4 回下水道技術検定（第 1 種）の合格者発表について

1 日本下水道事業団は、昨年 1 1 月に全国 1 1 都市で実施した第 4 4 回下水道技術検定のうち第 1 種の合格者を 2 月 1 日に発表した。

発表の方法は、同日、日本下水道事業団研修センター（埼玉県戸田市下笹目 5 1 4 1）の庁舎内に合格者の受検番号を掲示し、本社においても合格者の受検番号を閲覧に供した。また、日本下水道事業団のホームページにも掲載し、合格者本人に書面で通知した。

なお、技術検定（第 2 種、第 3 種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）については、昨年の 1 2 月 2 1 日、既に合格発表を行っている。

https://www.jswa.go.jp/gijutsu_nintei/30happyo1.html

2 下水道技術検定（第 1 種）の合格者の状況は、次のとおりである。

受検者は 1 0 0 人、合格者は 1 6 人であり、合格率は 1 6 . 0 % となっている。

（別紙 1 参照）

3 下水道技術検定（第 1 種）における多肢選択式問題の合格基準点は別紙 2 に記載のとおりである。

4 下水道技術検定（第 1 種）合格者は、一定の実務経験を経て、下水道法第 2 2 条に定める計画設計及び実施設計、工事の監督監理を行う場合の有資格者となる。

連 絡 先

日本下水道事業団研修センター
調 査 役 松井田 浩之
電 話 0 4 8 - 4 2 1 - 2 6 9 1

第4回下水道技術検定（第1種）合格者数一覧

平成31年2月1日
日本下水道事業団

試験地	第1種技術検定		
	受検者数	合格者数	合格率
札幌	4名	0名	0.0%
仙台	6	0	0.0
東京	30	2	6.7
新潟	4	1	25.0
名古屋	14	4	28.6
大阪	27	4	14.8
広島	2	0	0.0
高松	5	2	40.0
福岡	7	2	28.6
鹿児島	0	0	0.0
那覇	1	1	100.0
計	100 (100)	16 (20)	16.0 (20.0)

注 1 受検者数は、午前の多肢選択式問題を受検した者の数
2 ()内は前年度実績

第44回下水道技術検定（第1種）合格基準

下水道技術検定（第1種）においては、多肢選択式の点数40点以上かつ多肢選択式の点数と記述式の点数の合計114点を合格基準点とし、これ以上の点数の者を合格とする。

試験区分		出題方式	出題数	満点	合格基準点
下水道技術検定	第1種	多肢選択式	60問	60	114
		記述式	5問	100	

下水道技術検定の概要

日本下水道事業団では、毎年1回受検者を公募して全国の主要11都市で下水道技術検定（以下「技術検定」という。）を行っています。

下水道の設計、工事の監督管理及び維持管理については、下水道法及び下水道法施行令により、学歴に応じた一定の下水道実務経験を有する者に行わせなければならない、事業を実施するにはこのような有資格者を確保する必要があります。

技術検定は地方公共団体における有資格者の早期確保などを目的に創設された制度で、合格した場合下水道法第22条の資格取得について必要とされる実務経験年数を短縮する特例が認められます。

技術の内容に応じて「第1種技術検定」、「第2種技術検定」、「第3種技術検定」の3区分があり検定の対象は次のとおりです。

検 定 区 分	検 定 の 対 象
第1種技術検定	下水道の計画設計を行うために必要とされる技術
第2種技術検定	下水道の実施設計及び工事の監督管理を行うために必要とされる技術
第3種技術検定	下水道の維持管理を行うために必要とされる技術